

野田校区コミュニティ協議会では、「笑顔で支える地域の暮らし」自ら築く「野田の郷」を校区の将来像に掲げ、笑顔で共に支え・助け合う、温かなまちづくりを目指しています。

今回は、昨年度、新たに策定した「野田校区まちづくり推進計画」に基づく活動の一部を紹介します。

### ◆笑顔で支える地域の暮らし(支えあい活動)

野田校区では、たくさんさんのボランティアが活躍しています。

「野田いきいき会」は、月2回安楽寺を会場に、高齢者と一緒に脳トレやゲームをしたり、お茶や食事を一緒にしたり、高齢者と1日を楽しく過ごしています。高齢者の皆さんにとっても、昔から知っている顔なじみの方ばかりなので安心です。



●「野田いきいき会」の皆さん

その他にも「野田さええあい部会」は、庭の手入れなど日常のちょっとした困り事を手助けする「生活さええあいネット」へサポーター登録し、地域で活躍しています。

### ◆野田の郷(秋の郷道活動)

毎年10月の始めに「秋の郷道活動」を行っています。これは、まちづくり推進計画の基  
本方針のもと、校区の人たちが地区の幹線道路や通学路の環境整備を行う活動です。



●「秋の郷道活動」での水路掃除

今年も10月に実施し、鎌や草刈機などを巧みに操りながら草を刈り、気持ちの良い汗を流しました。

また、高木の伐採など地域住民で手に負えない作業は校区で専門業者に委託して実施するなど、校区全体で環境整備に取り組んでいます。

今後もこのような活動を継続して行い、美しい野田の郷を未来に引き継いでいきます。

若戸子ども食堂「つくって食べて育てよう心とからだ」

若戸子ども食堂は、地域課題の解決に取り組んでいる市民活動団体「まなびの会」と若戸市民館が連携して、1年前にスタートしました。若戸小学校の児童を対象に、若戸市民館で年2回開催しています。

一般的に子ども食堂は、経済的理由から家庭で満足な食事を取れない子どもへ食事を提供する場のことを指します。

しかし、この食堂は隣近所など地域の人同士が対話をする場が少なくなる中、食を通じて人と人が交流できる温かい場をつくりたいという思いから生まれました。

子どもたちがみんなで作って家族を招待し



●料理をする子どもたちと永田さん

ています。料理はカレーライスやコロッケ、お寿司などさまざまです。最近では、父親の参加が少しずつ増え、母親は家事や子育て、父親は仕事という性別の役割分担意識の変化を感じることができました。

アンケートでは、子どもからは料理の面白さや達成感、家族からは親子で楽しく参加でき貴重な経験だった、作ることや食べることの大切さを感じた、などの声が聞かれました。

市民活動団体と地域コミュニティが連携した事業の企画はまさしく「市民協働」であり、大きな一歩を踏み出せたと思います。今後も工夫を重ねながら、「子どもと大人が出会える場」として、若戸子ども食堂を継続していきたいです。

### 【問い合わせ】

まなびの会 会長 永田みよ江  
☎4533922

### 田原市民活動支援センター

☎10001061  
✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp  
aichi.jp